

ジャパンメディック

# 高機能保湿クリーム開発

## 配置薬ルートで市場投入

医薬品製造のジャパンメディック（富山市横越、前田康博社長）は、皮膚の表層を覆う角質層を保護する機能を持つ「光学活性天然型セラミドⅡ」を配合した保湿クリームを、配置薬販売ルートで市場投入した。

C（薬局・薬店向け）が中心で、配置市場向けの売り上げ比率は三割弱ま

で低下している。しかし、今回は配置市場が販売員と顧客の対面販売である点にあらためて着目し、商品の優位性などをじっくり説明できるメリットがあると判断した。販売員には販促ツールとして肌水分計を貸与する。高齢化や健康・美容へ

の関心の高まりに対応し、同社は今後も関院長と共同で商品開発に取り組む方針。

配置薬販売ルートで市場投入した高機能の保湿クリーム



セキひふ科クリニック（富山市呉羽町）の関太一院長と共同開発した化粧品の「対面販売」機能を生かす。健康や美容に

関心の高い女性に売れ込んでいる。大手香水メーカーが持つ「光学活性天然型」が特許を

「対面販売」機能を生かす。健康や美容に関心の高い女性に売れ込んでいる。大手香水メーカーが持つ「光学活性天然型」が特許を

持っています。セラミドⅡは、体内で作られるセラミドと同じもので、一般に化粧品や保湿クリーム剤などに含まれる合成セラミドや擬似セラミドに比べて、角質層のバリアー機能や保湿機能が高いという。同成分を配合した商品は配置市場では初めて。

クリームは七十円入り、三千七百八十円。初年度は一億円の販売を目指す。ジャパンメディックは、かつては配置薬が主だったのが、現在はOT